

目次

『御手鑑』の解説にあたって	増田 孝	3
慶安四年刊『御手鑑』について	増田 孝	5
慶安手鑑小考	日比野浩信	13
影 印		3
積 文		225
筆者略伝	宮崎富山	283
索 引		317

編者・執筆者紹介

凡 例

一、本書は御手鑑（いわゆる慶安手鑑）の影印・釈文・索引から成る。

一、増田孝編『慶安手鑑』（平成元年、文献出版）の「再刊」を目論んだが、版面の不鮮明な箇所も少なくはなく、影印は、新たに鮮明な一本を用いて撮り直した。

一、影印には、検索の便宜のため、古筆切（断簡）・短冊のそれぞれに通し番号を付した。なお、古筆切の番号は、巻末に「切之數 百三拾六」とあるのに合わせて1〜136となるようにした。ただし、実際には筆者数は、「菅家」は直後に「同」として重複掲出されていて都合百三十五人、古筆切の数も「菅家」の二種目に二葉、「小野篁」に二葉掲出されており、計百三十八葉が掲出されている。

一、釈文については次の要領で行った。

○ 釈文は概ね通行の字体に改めたが、「哥」「龍」など一部そのまま残したものもある。

○ 虫損や裁断などで判読できない文字は□、字形不審で判読困難な文字は■で、概ねの文字数分を示した。

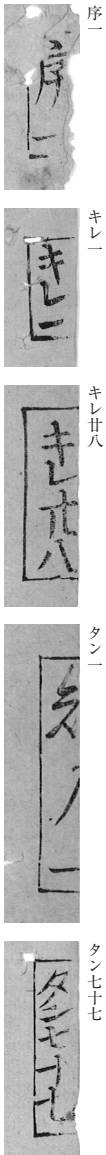
○ 掲出される古筆切・短冊に誤りがあると思われる場合も、そのまま翻刻し、注意すべきものについては、ある程度解説の中で触れることとした。

○ 改行なども極力そのままとしたが、作者名・詞書の書き出し位置などは、必ずしも厳密ではない。また、短冊の場合、古歌短冊は二行目を一字下げとするが、釈文ではすべて行頭を揃えてある。

○ 未判読箇所や、判読に不安の残る箇所も少なくない。あくまで一試案とお考えいただき、広くご教示を得たい。

一、索引は、筆者索引・古筆切名索引から成る。

※綴じ糸を外して撮影したことで、丁付を確認し得た。参考までにその一部を掲出しておく。



序一

キレ一

キレ廿八

タン一

タン七十七

『御手鑑』の解読にあたって

増田 孝

『御手鑑』（慶安四年刊の所謂『慶安手鑑』）という大型木版本は、筆跡鑑定を業とする古筆家の初代・古筆了佐によって鑑定台帳の普及版への需めに応えて上梓されたものである。その後もこの本が江戸期を通じて改訂をしつつ版を重ねたことは、その需要があり続けたからで、江戸時代の人々の間での古筆蒐集・観賞への関心・要求が存続したことをよく示している。

ところで私は本書の影印本として『慶安手鑑』（平成元年、文献出版）として公にしている。あれから既に四半世紀を経た今、さらに読み・索引などを付け利便性を高めた本として古筆・短冊・書跡に関心を持つ方たちのために利用していただくこうと考え、このたび思文閣出版から出していただくことにした。また旧影印本で書いた拙稿「慶安四年刊『御手鑑』について」はここに再録させてもらうので、ここでは監修者としてそれ以外のことを少し書いておきたい。

筆で書かれた崩し字を現行文字に置きかえるという作業にあたっては、一字ずつ慎重に丁寧に読むのは当然としても、それがこのたびは意外に困難を伴うものだった。その意味では作業などと呼び捨てるようなものではなく、まさに判読の高度な技能を求められるものだということを身にしみて感じたのである。

その理由のひとつに、これら木版本の持つ原本再現性の問題がある。精緻な木版の技術というものは、後世の浮世絵などを通じていつそう高度に発展してゆくものなのであるが、慶安年間にはそれが如何なる状態にあったものなのか。言うまでもなく、木版は版下の紙を版木に反転して貼りつけ、それを彫師が彫って、刷師が刷るわけ、それぞれの段階で異なる職人の手を経なければならぬ。だから、すべての工程において、ある程度書を理解し、且つ筆線の性質に通暁し、そのうえ原本を再現できる技が求められるのである。このことが原本再現性の隘路となり得るだろうことも明白である。早い話が、一点一画の違いというものが明らかに別の文字に読めて

しまう危険があるわけで、そうした難関が何処にも待ち受けているのである。挙げれば枚挙に遑ないが、例えば切の部58「橋本公夏 夏山のならの葉そよく夕暮は……」とあるところなど、版はどう読んでも「葉そよよく夕暮」なのである。また61「宗尊親王」の5行目「おもはむこともやさしく」の「や」はそのように読むわけにいかない字になってしまっている（版の欠損の問題もあるかもしれない）けれども、当歌は有名であるために仕方なく古典通りの文字を宛てることにした。

次に、筆跡そのものの信憑性の問題が内在することである。それは例えば、71の欄外には「斯家隆の切先年真筆正しくうつし置書付雖在之此度又目利に及し面かけ毛頭不違批判により是を押」という注がついていることから分かるように、後世の利用者の立場として、筆写されたもの（写本）を版下に用いることもあったという事実をくれぐれも忘れてはならない。偶々ここだけが写しであって、あとはすべて原本であると安心しきってよいものかどうか、これは即答の出る問題でもなさそうである。

となれば、『御手鑑』が現代の鑑定に際していかほど有効であるかについては疑問符もつくであろう。その意味では、あくまで『御手鑑』は江戸時代前期の出版文化の水準を示す歴史的遺産であるので、現今の科学的批判に比べられるなどとゆめ思うべきではないのである。だから、本書をどのように活用・評価するかは利用する研究者自身に任された事柄でもある。

今述べたように、本書に含まれる問題は少なくないけれども、『御手鑑』が今日なお度々引かれる大事な資料であることには変わりはなく、このたびの仕事が少しでも利用者の役に立つことになるなら、私たちにとってこれ以上の幸いはない。

なお、今回の翻字・索引制作にあたっては日比野浩信、宮崎富山の両氏に御願いし、点検には広森美枝子氏の協力があつた。ここに記して御礼を申し上げたい。遅れがちになる原稿を温かく見守って下さった思文閣出版の原宏一さん、大地亜希子さんにも感謝申し上げます。

後多相院

海皇乃靈心にかたじけなく侍し
家塔初
とわさるるかたじけなくも
おのれをたもたふし

后深草院

あまの
志願の
のり

后山院

あまの
今も
ま

古筆切

1 聖武天皇

其母囑而不用之便問之曰汝
前來時被母教勅好衣美食曰
照明鏡其事云何卿可說之見

2 光明皇后

讀誦方等思大乘義念力強故得見我身及
多宝仏塔十方分身無量諸仏普賢菩薩文
殊師利菩薩藥王菩薩藥上菩薩恭敬法故

3 聖徳太子

道七宝雜色樹常有華
菓実彼国諸菩薩志念

4 後鳥羽院

海辺の霜といへるこゝろをよみ侍し
家隆朝臣

5 後深草院

さし
あう事の候
し程にさしある
事のみ候て

6 龜山院

あやめひくさつきの夜半は
たひねせぬ
人もやくさの

7 伏見院

読人不知
たかそてにおもひ
よそへて

8 後伏見院

ありあけはおもひて
あれやよこ雲の
た、よはれつる
しの、めのそら

9 後二条院

人くちかくうち
みしろく
しはくきこゆれば

10 花園院

御うれしくおほしめせ
おはしまして候
これしきならひ
めてたくうらむすらへと

数の男。薄以量の養嗣子。本姓、橘。

225 同 橘以繼 天文一六〇天正一三（以下未詳）

（一五四七）一五八五 39）公卿。左衛門権佐。

從五位下。山科言繼の男。薄（橘）以緒の養嗣子。

名、初め以繼、のち諸光。

226 高辻殿 章長 文明元〇大永五・一・四（一四六

九）一五二五 57）公卿。権中納言。從二位。贈

大納言。高辻長直の男。本姓、菅原。家学の漢学

を能くした。

227 同 侍從殿 未詳。

228 五条殿 為学 文明四〇天文二二・六・三〇（一

四七二）一五四三 72）公卿。権大納言。正二位。

五条為親の男。文章博士、漢詩文・連歌を能くし

た。

229 同 為名 為経 天文二二〇元和元・七・二三

（一五五二）一六一五 64）公卿。権中納言。正

三位。贈大納言。五条為康の男。名、初め貞長、

また為名、のち為経。

230 東坊城殿 和長 寛正元〇享禄二・二二・二〇

（一四六〇）一五二九 70）公卿・歌人。権大納

言。正三位。東坊城長清の男。漢詩・和歌・連歌

を能くした。

231 同 長淳 永正三〇天文二七・三・二三（一五〇

六）一五四八 43）公卿。権中納言。從二位。東

坊城和長の男。

三九〇一六〇八 70）公卿。権中納言。正二位。

五条為康の男。東坊城長淳の養嗣子。名、初め為

治、のち盛長。

233 鷹司殿 信房 永禄八〇明暦三・一二・一五（一

五六五）一六五七 93）公卿。関白。從一位。氏

長者。二条晴良の男。鷹司信冬の養嗣子。

234 同 信尚 天正一八〇元和七・一一・一九（一五

九〇）一六二二 32）公卿。関白。從一位。氏長

者。鷹司信房の男。

235 同 教平 慶長一四〇寛文八・一〇・三（一六〇

九）一六六八 60）公卿。左大臣。從一位。鷹司

信尚の男。

236 転法輪三条殿 実量（三条） 一説に、応永二二〇

文明一五・一二・一九（一四一五）一四八三

69）公卿・歌人。左大臣。從一位。三条公冬の男。

転法輪三条とも。名、初め実尚・実教、のち実量。

法名、禪空。『新統古今和歌集』撰集時の和歌所

寄人。

237 同 公敦 御法名 禪空 236実量と同人。「公敦」

は「実量」の誤りか。

238 同 実香 一説に、文明元〇弘治四・二・二五

（一四六九）一五五八 90）公卿。太政大臣。從

一位。三条公敦の男。法名、諱空。後浄土寺太政

大臣と称す。

239 同 公頼 一説に、明応七〇天文二〇・九・一

位。三条実香の男。周防山口で横死。

240 同 実秀 慶長三〇寛文二一・八・二五（一五九

八）一六七二 74）公卿。左大臣。從一位。三条

公広の男。

241 同 三条家 実任 文永元〇暦応元・一二・三

（一二六四）一三三八 75）公卿・歌人。中納言。

正二位。三条公種の男。家名、正親町三条とも。

名、初め実名、のち実任。和歌を能くした。

242 高倉殿 範音 生没年未詳。室町時代の公卿。左

近少将。正四位下。高倉範綱の男。

243 同 範久 明応二〇天文一五・五・五（一四九三

）一五四六 54）公卿。参議。正三位。四辻季経

の男。高倉範音の養嗣子。高三位と称す。

244 鷲尾殿 隆康 文明一七〇天文二二・三・六（一四

八五）一五三三 49）公卿・歌人。権中納言。正

二位。四辻季経の男。鷲尾隆頼の養嗣子。和歌・

連歌を能くした。

245 同 隆尚 永禄九〇慶長一三・三・一三（一五六

六）一六〇八 43）公卿。参議。從三位。四辻公

遠の男。鷲尾隆康の養嗣子。名、初め季満、のち

隆尚。

246 同 隆量 慶長一一〇寛文二・八・二〇（一六〇

六）一六六二 57）公卿。権大納言。正二位。広

橋兼勝の男。鷲尾隆尚の養嗣子。

247 西大路殿 秀成 未詳。

基孝(持明院)	155	魚養(朝野)	切 77	兼実(九条)	切 13	玄俊(堺)	476
基綱(姉小路)	254	共房(清閑寺)	250	兼秀(広橋)	72	玄俊	490
基俊(藤原)	切 70	教国(滋野井)	141	兼俊(水無瀬)	146	玄仍	485
基春(持明院)	153	教秀(勸修寺)	100	兼勝(広橋)	74	玄清	460
基定(持明院)	156	教平(鷹司)	235	兼成(水無瀬)	144	玄仲	486
基任(園)	268	教房(一条)	31	兼冬(一条)	33	玄陳	487
基富(園)	266	堯胤(梶井御門跡)	330	兼与	452	玄的	488
基福(園)	269	堯惠	457	兼與	492	玄与	392
基有(園)	265	堯孝	455	兼良(一条)	切 17	玄論	475
輝元(毛利)	601	堯知(堯智)	458	賢清	577	言経(山科)	65
輝資(日野)	66	堯然(妙法院)	336	賢盛(杉原) ↓宗伊	95	言綱(山科)	64
澗房(清閑寺) ↓保房		堯伯	461	賢房(万里小路)	95	言国(山科)	63
義熙(足利)	36	暁助	442	顯吉	405	彦胤(梶井御門跡)	331
義賢(朝倉)	540	業光(柳原)	84	謙斎	409	言国(山科)	62
義材(足利)	37	玉室	切 110	元家(上杉)	583	源俊	376
義視(足利)	38	玉伝	395	元久(細川)	523	嚴宝	416
義持(足利)	切 18			元高(大江)	581	儼智(大内)	551
義俊(大覚寺)	337			元重(細川)	524		
義尚 ↓義熙				元信(武田)	切 128		
義政(足利)	35	具家(久我)	46	元親(中山)	180	古岳	切 105
義尊(実相院)	356	具起(岩倉)	304	元仲(五辻)	210	古澗	切 118
義澄(足利)	39	空海 ↓弘法大師		元長(甘露寺)	88	虎関	切 116
義隆(大内)	547	空性	339	元頼(秋庭)	572	後宇多天皇	1
久世	436			元恵	切 84	後円融天皇	切 12
久秀(松永)	596	け		玄作	454	後柏原天皇	9
宫内卿(板倉伊賀守内衆)	615	解脱	切 96	兼載(猪苗代)	525	後小松天皇	3
		刑部少輔(今川) ↓直房					
		桂久	464				
		経遠(甘露寺)	91				
		経覚	切 98				
		経広(勸修寺)	107				
		経厚(鳥居小路)	315				
		経郷(勸修寺)	108				
		経元(甘露寺)	92				
		経乘(鳥居小路)	316				
		経朝(世尊寺)	切 52				
		経敦(大炊御門)	56				
		経名(大炊御門)	54				
		経頼(大炊御門)	55				
		景山(素山カ)	592				
		慶運	446				
		慶純	493				
		慶乘	367				
		慶親(中山)	179				
		慶福	612				
		慶祐	480				
		慶融(二条)	切 37				
		月樵	切 135				
		兼空	切 101				
		兼見(吉田)	507				
		兼賢(広橋)	76				
		兼好(吉田)	444				
		兼載(猪苗代)	451				

公順	公濟(德大寺)	公根(阿野)	公国(三条西)	公高(正親町三条)	公顯(今出川)	公兼(正親町)	公兄(正親町三条)	公業(阿野)	公夏(橋本)	公音(四辻)	公遠(四辻)	公益(西園寺)	公維(德大寺)	後陽成天皇	後水尾天皇カ	後伏見天皇	後深草天皇	後花園天皇	後二条天皇	後奈良天皇	後鳥羽天皇	後土御門天皇	後醍醐天皇	後光明天皇カ	後光嚴天皇
400	52	260	126	132	切22	128	120	259	切58	134	136	47	50	13	14	切8	切5	5	切9	10	切4	7	切11	15	2
光豐(勸修寺)	光泰	光泰	光宣(烏丸)	光氏(日野西)	光広(烏丸)	光賢(烏丸)	光慶(日野)	光経(海住山)	光吉(惟宗)	光悦(本阿弥)	弘融	弘法大師	弘資(日野)	勾当内侍(後土御門天皇)	勾当内侍(後花園天皇)	公理(四辻)	公頼(転法輪三条)	公福(阿野)	公任(藤原)	公澄(正親町)	公信(德大寺)	公条(三条西)	公松(清水谷)	公叙(正親町)	公助
106	597	574	78	70	79	80	68	切49	590	611	切90	切72	69	8	6	138	239	258	切69	133	51	124	261	130	399
康道(二条)	康親(中山)	康純(堀河)	高有(綾小路)	高辻殿侍從	高濑(海住山)	高国(細川)	国冬(津守)	国行(南部)	国光(広橋)	国夏(津守)	杲守	孝亮(壬生)	孝清	孝親(中山)	孝治(竹内)	孝我	行能(世尊寺)	行忠(世尊寺)	行成(世尊寺)	行季(世尊寺)	行尹(世尊寺)	江隠	好仁(高松)	光隣	光明皇后
30	176	297	275	227	252	520	切66	515	73	切67	切85	307	426	177	272	423	切51	切55	切125	256	切53	切107	292	411	切2
資胤(中御門)	師賢(花山院)	氏成(水無瀬)	氏親(今川)	氏真(今川) ↓宗閻	氏信(水無瀬)	し		三藐院	三昌	三斎(細川忠興)	策伝	策彦和尚 ↓謙斎	在数(唐橋)	最澄 ↓伝教大師	最胤(梶井御門跡)	濟繼(姉小路)	佐理(藤原)	さ	興国(大内家竹中兵庫)	司	興国(大内家長州二宮大宮)	興基(理覚院)	興意(昭高院)	篁(小野)	
113	42	145	508		147			20	529	527	431	293		333	255	切124		568	549		165	352	切122		
慈運(竹内)	時庸(平松)	時能	時直(西洞院)	時長(甘露寺)	時昌	時頭(西洞院)	時慶(西洞院)	持和(冷泉)	持頼(上野)	持通(二条)	持之(細川)	持教	持基(二条)	治直(西洞院)	嗣広(藤井)	資能(綾小路) ↓資数	資任(烏丸)	資敦(佐閑野)	資定(柳原)	資数(綾小路)	資勝(日野)	資高(平松)	資行(柳原)	資広(日野)	資経(甘露寺)
358	264	396	221	90	393	219	220	168	579	切16	切127	422	26	222	512		77	312	82	274	67	切59	85	切25	切23

政顯(勸修寺)	101	政元(細川)	519	宗綱(松木)	149	尊雅	398
政家(近衛)	16	政弘(多々良郎)	534	宗治	383	尊海	341
政為(冷泉)	169	政国(細川)	521	宗訊	466	尊政	365
齐祐(高松好仁)	291	政之(小堀)	606	宗周	467	尊氏(足利)	34
成賢(醍醐)	93	政宗(伊達)	598	宗劔	479	尊勢	366
正頼(瓦林)	528	清弘	378	宗節(鳥養)	469	尊詮(勘解由小路)	63
正能(池田帶刀)	585	盛長(東坊城)	232	宗全	479	尊伝	327
正徹	462	晴季(今出川)	57	宗尊親王	61	尊朝	329
正種	390	晴長(北畠)	214	宗梅	450	尊鎮	328
正広(日比)	134	晴右(勸修寺)	105	宗藤(松木)	150	尊道	87
正繼(相良)	557	晴右(勸修寺)	104	宗椿	470	尊阿	443
正敬	463	晴良(二条)	28	宗伊	567	他阿	443
正云	388	誠仁(陽光院)	12	宗範	384	多賀出雲	595
世		蜻庵	332	宗甫	536	大愚和尚↓片石	
尋円(大乘院)	369	石屏	344	宗甫(齊藤)	450	大林	106
仁悟(円満院)	362	仙岳	113	宗牧	481	泰吉(倉橋)	306
親鸞	79	切	切	宗満↓宗房	151	泰広(土御門)	310
親祐(速水)	324	切	切	宗養	482	泰重(土御門)	311
親当(蛭川)↓智温	86	切	切	宗柳	471	沢庵和尚↓冥之	
親世(甘露寺)	87	切	切	宗具	374	総光(広橋)	
親世(法性寺殿)	541	切	切	宗空	381	相阿弥	
親世(蛭川)	513	切	切	宗繼(松木)	148	増春	
親綱(中山)	178	切	切	宗慶(鳥飼)	609	増運	
親孝(蛭川)	543	切	切	宗高(細見)	570	尊心	
親元(蛭川)	131	切	切	前久(近衛)↓龍山		宗綱(松木)	149
				善成(四辻)	62		
				禅空↓実量			
				禅昌(北野)	435		
				素珊(東)	132		
				素山(景山力)	592		
				楚仙	432		
				宋雅	181		
				宋世↓雅康	510		
				宗閻	510		
				宗伊	567		
				宗悦	382		
				宗於	385		
				宗可	566		
				宗鑑(山崎)	500		
				宗祇	448		
				宗橋(内藤)	560		
				宗句	608		
				宗具	374		
				宗空	381		
				宗繼(松木)	148		
				宗慶(鳥飼)	609		
				宗高(細見)	570		
				前久(近衛)↓龍山			
				善成(四辻)	62		
				禅空↓実量			
				禅昌(北野)	435		
				素珊(東)	132		
				素山(景山力)	592		
				楚仙	432		
				宋雅	181		
				宋世↓雅康	510		
				宗閻	510		
				宗伊	567		
				宗悦	382		
				宗於	385		
				宗可	566		
				宗鑑(山崎)	500		
				宗祇	448		
				宗橋(内藤)	560		
				宗句	608		
				宗具	374		
				宗空	381		
				宗繼(松木)	148		
				宗慶(鳥飼)	609		
				宗高(細見)	570		
				前久(近衛)↓龍山			
				善成(四辻)	62		
				禅空↓実量			
				禅昌(北野)	435		
				素珊(東)	132		
				素山(景山力)	592		
				楚仙	432		
				宋雅	181		
				宋世↓雅康	510		
				宗閻	510		
				宗伊	567		
				宗悦	382		
				宗於	385		
				宗可	566		
				宗鑑(山崎)	500		
				宗祇	448		
				宗橋(内藤)	560		
				宗句	608		
				宗具	374		
				宗空	381		
				宗繼(松木)	148		
				宗慶(鳥飼)	609		
				宗高(細見)	570		
				前久(近衛)↓龍山			
				善成(四辻)	62		
				禅空↓実量			
				禅昌(北野)	435		
				素珊(東)	132		
				素山(景山力)	592		
				楚仙	432		
				宋雅	181		
				宋世↓雅康	510		
				宗閻	510		
				宗伊	567		
				宗悦	382		
				宗於	385		
				宗可	566		
				宗鑑(山崎)	500		
				宗祇	448		
				宗橋(内藤)	560		
				宗句	608		
				宗具	374		
				宗空	381		
				宗繼(松木)	148		
				宗慶(鳥飼)	609		
				宗高(細見)	570		
				前久(近衛)↓龍山			
				善成(四辻)	62		
				禅空↓実量			
				禅昌(北野)	435		
				素珊(東)	132		
				素山(景山力)	592		
				楚仙	432		
				宋雅	181		
				宋世↓雅康	510		
				宗閻	510		
				宗伊	567		
				宗悦	382		
				宗於	385		
				宗可	566		
				宗鑑(山崎)	500		
				宗祇	448		
				宗橋(内藤)	560		
				宗句	608		
				宗具	374		
				宗空	381		
				宗繼(松木)	148		
				宗慶(鳥飼)	609		
				宗高(細見)	570		
				前久(近衛)↓龍山			
				善成(四辻)	62		
				禅空↓実量			
				禅昌(北野)	435		
				素珊(東)	132		
				素山(景山力)	592		
				楚仙	432		
				宋雅	181		
				宋世↓雅康	510		
				宗閻	510		
				宗伊	567		
				宗悦	382		
				宗於	385		
				宗可	566		
				宗鑑(山崎)	500		
				宗祇	448		
				宗橋(内藤)	560		
				宗句	608		
				宗具	374		
				宗空	381		
				宗繼(松木)	148		
				宗慶(鳥飼)	609		
				宗高(細見)	570		
				前久(近衛)↓龍山			
				善成(四辻)	62		
				禅空↓実量			
				禅昌(北野)	435		
				素珊(東)	132		
				素山(景山力)	592		
				楚仙	432		
				宋雅	181		
				宋世↓雅康	510		
				宗閻	510		
				宗伊	567		
				宗悦	382		
				宗於	385		
				宗可	566		
				宗鑑(山崎)	500		
				宗祇	448		
				宗橋(内藤)	560		
				宗句	608		
				宗具	374		
				宗空	381		
				宗繼(松木)	148		
				宗慶(鳥飼)	609		
				宗高(細見)	570		
				前久(近衛)↓龍山			
				善成(四辻)	62		
				禅空↓実量			
				禅昌(北野)	435		
				素珊(東)	132		
				素山(景山力)	592		
				楚仙	432		
				宋雅	181		
				宋世↓雅康	510		
				宗閻	510		
				宗伊	567		
				宗悦	382		
				宗於	385		
				宗可	566		
				宗鑑(山崎)	500		
				宗祇	448		
				宗橋(内藤)	560		
				宗句	608		
				宗具	374		
				宗空	381		
				宗繼(松木)	148		
				宗慶(鳥飼)	609		
				宗高(細見)	570		
				前久(近衛)↓龍山			
				善成(四辻)	62		
				禅空↓実量			
				禅昌(北野)	435		</

智忠(八条)	290	通秀(中院)	211	道增	347	範久(高倉)	243
中正藏主	切120	通勝(中院) ↓也足軒		道澄	350		
忠栄(九条)	23	通親(久我)	切20	道風(小野)	切123	ふ	
忠興(細川) ↓三斎		通村(中院)	213	道房(九条)	24	伏見天皇	切7
忠親(鈴木)	587	て		統秋(豊原)	594	富仲(五辻)	切207
忠富(白川)	216	定為(二条)	切38	藤孝(細川) ↓玄旨	317	文覚	切95
忠利(壬生)	308	定逸(野々宮)	305	徳阿弥	41	へ	
長諱(楠木)	607	定家(藤原)	切31	敦定	554	片石	410
長雅(高辻)	切47	定熙 ↓家雅	370	頼阿	447	ほ	
長元	421	定信	370	に			
長治(進藤)	318	定親(中山)	174	日盛	切82	保房(清閑寺)	251
長淳(東坊城)	231	定成(世尊寺)	切53	日統	434	輔久(賀茂)	403
長嘯(木下)	603	貞高	545	日蓮	切81	輔房(万里小路)	98
長祐	430	貞康親王	286	任源(竹中)	563	邦高親王	283
澄興(勝仙院)	354	貞秀(堤)	114	の		邦房親王	285
澄秀(岩山)	571	貞秀(中川)	300	道堅(岩山)	586	豐永(能勢)	578
澄存(勝仙院)	355	貞秀(蒲生) ↓智閑		道光	349	房任(西川)	535
直盛(熊谷)	573	貞常親王	282	道晃	348	能円	437
直房(今川)	511	貞清親王	288	道三(曲直瀬)	切136	は	
植家(近衛)	18	貞敦親王	284	道周	353	花園天皇	切10
植通(九条)	22	貞通	544	道什	345	白清	425
通規(塩小路)	303	貞利	546	道春	413	半左衛門尉(和久)	610
通具(久我)	切19	鉄山	切114	道真(菅原) ↓菅家	351	伴国	550
通式(久世)	299	天海	418	道寸(三浦)	切129	範音(高倉)	242

古筆切名索引

・慶安手鑑の前半、古筆切の索引であるが、作品名索引では典拠不明な切も多く、切名は模刻ゆえ、同定の困難なものもあり、あくまで便宜的なものと考えられる。

漢詩	112・113・117	漢籍	84・123	千載集	19・20・30・67
寛和元年内裏歌合	29	観普賢經	2・122	草根集	134
河海抄	62	願文	88	た	
歌林良材	17	記録	97	般若心經	46
歌集	6・11・129・56	偈	103・106・108・110・114	白氏文集	15・124
歌集(連歌カ)	65	系図	116・118	彦火々出見尊繪卷繪詞	43
仮名法語	111	賢愚經	1	仏典	73・75・76・77・78
か		源氏物語	51	法華經	3・26・45・72
		源氏物語	33・36・64・99	法華經二十八品和歌	105・120
		頭注密勘	23	墨跡	131
		賢愚經	1	まくわ	
		続古今集	101	物語	9
		続古今集	93・95・109・115・119	連歌	127
		続千載集	39	六字名号	80
		新古今集	41	和漢朗詠集	
		新古今集	4・32・8		
		新後拾遺集	42		
		新撰撰集	35		
		新時代不同歌合	92		
		新千載集	85		
		新撰朗詠集	53		
		新勅撰集			
		後撰集	31・83		
		後拾遺集	24・34・57・58		
		後京極撰政百首	71		
		古今集抜書	91		
		古今集歌	61		
		古今集	133		
		源氏物語	51		
		阿弥陀經	46		
		伊勢物語	128・132・135		
		詠草	13・25・27・47		
		往来	55		
		一 作品名索引			
		あ			
		二 切名索引			
		綾地切	124		
		石見切	64		
		太秦切	3		
		近江切	37		
		五条切	39		
		下絵朗詠集切	69		
		紹巴切	31		
		多賀切	70		
		二条切	29		
		長谷切	50		
		日野切	30		
		細川切	63		
		水無瀬切	4		
		名家家集切	61		
		三輪切	99		
		焼切	74		
		大和切	1		
		龍山切	20		

編者・執筆者紹介

増田孝（ますだ たかし）

昭和二十三年生。愛知東邦大学教授。博士（文学）。

著書『くずし字辞典』（思文閣出版、二〇〇〇年）、『本阿弥光悦人と芸術』（東京堂出版、二〇一〇年）、『書は語る 書と語る』（風媒社、二〇一〇年）など。

日比野浩信（ひびの ひろのぶ）

昭和四十一年生。愛知淑徳大学・京都女子大学非常勤講師。

著書『二条為氏と為世』（笠間書院、二〇一二年）、『歌びと達の競演 諸家集・歌合断簡集成』（共著 青簡舎、二〇一四年）など。

宮崎富山（みやざき ふざん）

昭和二十三年生。毎日書道会会員、公益社団法人中部日本書道会評議員、暢心書道会副理事長、書道研究書泉誌顧問。